

## 指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成27年4月1日～平成29年3月31日)

### 1 基本情報

施設名称	千葉市社会福祉研修センター
条例上の設置目的	社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成の促進を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行うこと。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	多様化、高度化する福祉ニーズに対し、質・量ともに充実したサービスを提供するため、福祉を担う人材の養成と資質の向上を図ること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉事業の従事者を対象に、福祉制度の改正状況、求められる知識、技能、参加者のニーズを踏まえた幅広い研修を計画的かつ体系的に実施すること。</li> <li>・一般市民を対象に、福祉に関する幅広い知識に触れる機会を提供する研修を実施すること。</li> </ul>
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により効率的に福祉を担う人材の養成と資質向上を図ること。
指定管理者名	千葉市ハーモニープラザ管理運営共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	【代表団体】社会福祉法人千葉市社会福祉事業団
	【構成団体】社会福祉法人千葉市社会福祉協議会 ※社会福祉研修センター担当
	【構成団体】公益財団法人千葉市文化振興財団
指定期間	平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年)
所管課	保健福祉局地域福祉課

### 2 成果指標等の推移

#### (1) 研修の延べ参加者数(成果指標1)

	平成27年度	平成28年度	平均
実績値	103.5% (指定管理研修)	94.2% (指定管理研修)	98.9% (指定管理研修)
数値目標※	90%以上	90%以上	90%以上
達成率	115.0%	104.7%	109.8%

#### (2) アンケート総合評価(5点満点)の平均点(成果指標2)

	平成27年度	平成28年度	平均
実績値	4.45点	4.45点	4.45点
数値目標※	4.3点以上	4.3点以上	4.3点以上
達成率	103.5%	103.5%	103.5%

#### (3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	平成27年度	平成28年度	平均
研修室利用率	80.3%	86.4%	83.4%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

### 3 収支状況の推移

(単位：千円)

			平成27年度	平成28年度	合計
必須業務	収入	指定管理料	実績 48,308	49,324	97,632
			計画 48,308	49,324	97,632
	その他	実績 17	121	138	
		計画 0	0	0	
	合計	実績 48,325	49,445	97,770	
		計画 48,308	49,324	97,632	
支出	実績 44,063	48,730	92,793		
	計画 48,308	49,324	97,632		
収支		実績 4,262	715	4,977	
自主事業	収入	実績 1,081	34	1,115	
		計画 1,200	200	1,400	
	支出	実績 1,105	210	1,315	
		計画 1,352	1,255	2,607	
収支		実績 △ 24	△ 176	△ 200	
総収入		実績 49,406	49,479	98,885	
総支出		実績 45,168	48,940	94,108	
総収支		実績 4,238	539	4,777	
利益の還元額		実績 0	0	0	
利益還元の内容					

#### 4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	B	【目標達成率】※平成27年度・平成28年度の平均 ①成果指標 1 109.8% ②成果指標 2 103.5% (①105%以上120%未満：B ②101%以上116%未満：B)
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	平成28年度削減率 0.2% (削減率：選定時の提案額と指定管理料を比較) ※平成27年度は、消費税の引き上げ(5%→8%)に伴い、指定管理料を上乗せしているため除外 (削減率5%未満：C)
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	・研修の受講対象者は適切に設定されており、市民の平等利用は確保されている。 ・関係法令等の遵守、リスク管理などの施設管理についても、管理運営の基準や提案・計画どおりに実施されている。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	基本協定書に基づき、施設に責任者を配置している。 また、従業員の能力向上のため、研修を受講させている。
(2) 施設の維持管理業務	C	適切に備品を管理している。 ※施設全体の維持管理は「施設維持管理等業務」で評価
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	ハーモニープラザのイベント開催時に市民向けの講座を実施するなど、施設の周知を図っている。
(2) 利用者サービスの充実	C	利用者の状況に応じて必要な支援を行っている。
(3) 施設における事業の実施	B	・法律・制度改正に対応した研修や、職場研修に係る相談を行うなど、効果的な事業の実施に努めている。 ・福祉人材の定着を目的に、平成27年度から自主事業を実施している(平成27年度・平成28年度1回ずつ)
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	いずれの項目も、管理運営の基準や提案・計画どおりに実施している。

総合評価	C
------	---

#### 【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

## 5 総合評価を踏まえた検討

### (1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

### (上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

指定管理業務のうち、必須業務については管理運営の基準等で定める水準どおりに研修や相談が行われている。また、平成27年度からは自主事業が企画・実施され、指定管理者制度導入効果として見込んでいた福祉人材の養成と資質向上は達成できている。

【参考】指定管理業務は次の2つに分けることができる。

- ・ 必須業務…設置管理条例や管理運営の基準などの仕様により、市が実施を義務付けている業務
- ・ 自主事業…管理する施設において実施する必須業務以外の事業であって、指定管理者が自らの発意、企画提案により、市の承認を得て実施するもの

### (2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

特になし。

### (3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

### (4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・ 概ね適切に運営をされている。